

第108回 電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会
2020年第3回 電気学会 電磁界理論技術委員会
合同委員会議事録（案）

日時：2020年11月5日（木）16:00～17:30

場所：（オンライン開催）

出席者：

（電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会）

平山 委員長（北見工大），出口 副委員長（同志社大），鈴木 幹事（都立大），中 幹事（宮崎大），
新納 幹事補佐（京都大），安藤 委員（電通大），飯盛 委員（名古屋大），尾崎 委員（日本大），河野 委員
（防衛大），黒木 委員（都立産技高専），阪本 委員（京都大），柴崎委員（都立産技高専），杉坂 委員（北
見工大），園田 委員（仙台大専），田村 委員（工繊大），中嶋 委員（福工大），夏秋 委員（東京大），西岡
委員（三菱電機），藤田 委員（富士通），松岡 委員（九産大），森山 委員（長崎大），渡辺 委員（福工大）

（電気学会 電磁界理論技術委員会）

松島 委員長（熊本大），黒木 幹事（都立産技高専），川口 幹事（室蘭工大），杉坂 幹事補佐（北見工大），
飯盛 委員（名古屋大），上田 委員（工繊大），尾崎 委員（日本大），後藤 委員（防衛大），阪本 委員（京
都大），田中 委員（岐阜大），出口 委員（同志社大），藤崎 委員（福工大）

議題：

1. 第107回電磁界理論研究専門委員会・2020年第2回電磁界理論技術委員会議事録について

（電子情報通信学会 電磁界理論技術委員会）

2. 電子情報通信学会英文論文誌C 小特集号について（2021年4月号について）
3. 電子情報通信学会英文論文誌C 小特集号について（2022年4月号について）
4. 英文論文誌C 小特集号（2022年4月号）のInvited Paperに関して
5. 2022年度エレクトロニクスソサイエティ学生奨励賞候補者の推薦について
6. 2020年ソサイエティ大会シンポジウムセッション終了報告
7. 2020-2021年度電磁界理論研究専門委員会活動（報告と計画）
8. 第50回電磁界理論シンポジウムについて
9. 令和2年度学生優秀発表賞について
10. EMT 研専第2 四半期会計報告
11. サーバ移行に伴うメーリングリストのアドレス変更について
12. 2020年度電磁界理論研究専門委員会名簿
13. 専門委員の交代について

（電気学会 電磁界理論技術委員会）

14. 電気学会A部門 活動資金申請（令和3年度分）について
15. 研究会資料電子化について
16. 電気学会優秀論文発表賞A賞および基礎・材料・共通部門表彰について

共通議題 議事

1. 第 107 回電磁界理論研究専門委員会議事録の確認

平山委員長より資料 No. 108-1 に基づき前回議事録の確認があり、承認された。

電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会 議事

2. 電子情報通信学会英文論文誌 C 小特集号 (2021 年 4 月号について) について

渡辺委員より、資料 No. 108-2 に基づき、2021 年 4 月号の通信学会英文論文誌小特集に投稿された 5 編の論文について、編集委員会の審議に基づく採録・不採録の結果が報告され、異議なく承認された。

また鈴木委員から、今年度から提出された論文を順次査読開始するという方式に変更されたが、運用上問題などは起きなかったか、という質問があったが、渡辺委員は、特に運用上の問題などは無く、この方式に変更したことによる効果を見るためにも数年は続けるべき、との回答があり、改めて順次査読の方式で今後も続けていくことが確認された。

3. 電子情報通信学会英文論文誌 C 小特集号 (2022 年 4 月号について) について

鈴木幹事より、資料 No. 108-3 に基づき、2021 年 4 月号の通信学会英文論文誌小特集のスケジュールおよび call for paper について説明がなされた。スケジュールについては、資料に示された期日は最終締め切りであることが確認された。

渡辺委員から論文の判定結果が出た日から 2 か月後を修正原稿の提出期限とする意見が挙がり、審議のうえ承認された。

また文献引用数が 30 件未満の投稿が (brief paper であっても) 不採択になることが確認された。

4. 英文論文誌 C 小特集号 (2022 年 4 月号) の Invited Paper に関して

鈴木幹事より、英文論文誌 C 小特集号に掲載する Invited Paper の著者に関して推薦が募られた。

平山委員長から小見山先生が候補者として挙げられた。

その他意見がある場合は鈴木幹事に個別に提案することが確認された。

5. 2020 年度エレクトロニクスソサイエティ学生奨励賞候補者の推薦について

鈴木幹事より、資料 No. 108-5 に基づき、エレクトロニクスソサイエティ学生奨励賞対象の 3 件の発表から 審査員による採点結果に基づき、中沢佑氏 (日本大学) を推薦するとの報告がなされた。本議題は異議なく承認された。

6. 2020 年ソサイエティ大会シンポジウムセッション終了報告

鈴木幹事より、資料 No. 108-6 に基づき、2020 年ソサイエティ大会のシンポジウムセッションの報告がなされた。合計で 6 件の講演が行われ、幹事より感謝の言葉が述べられた。

7. 2020-2021 年度電磁界理論研究会活動(報告と計画)

鈴木幹事より、資料 No. 108-7 に基づき、2020 年 5 月研究会の中止及び、7 月研究会、ソサイエティ大会、11 月研究会の発表件数について報告がなされた。続いて以下の計画：2021 年 1 月研究会、総合大会 (シンポジウムセッションはなし)、5 月研究会 (場所は前年度に開催を予定していた東京都立大学秋葉原

サテライトキャンパスを再採用)、7月研究会(OPEが主幹)、9月ソサイエティ大会(シンポジウムセッションのテーマを募集中)、11月研究会、2022年1月研究会(PN主幹)、3月総合大会(新潟大学)について報告がなされた。

8. 2021年第50回電磁界理論シンポジウムについて

中幹事より、資料No.108-8に基づき、開催候補日と候補地について説明がなされた。他の学会・研究会の開催予定と重ならないように考慮し、候補日として2021年11月の1・2週目が提案された。開催地については今年度開催予定であった(実際はオンライン開催)新潟県越後湯沢温泉が改めて提案された。未だ現地開催が可能かわからない情勢であるため、具体的な開催場所については様子を見てから決定すると報告された。

9. 令和2年度学生優秀発表賞について

新納幹事補佐より、資料No.108-9に基づき、学生優秀発表賞の候補者選出の流れについて説明がなされた。

10. EMT研専第2四半期会計報告

新納幹事補佐より、資料No.108-10に基づき第2四半期の会計報告について説明がなされた。本年度は研究会がすべてオンラインで開催されたため支出が無かったことが報告された。また中島委員より、このまま研専活動費を使用しなかった場合、通信学会に返却する必要があることが確認された。

11. サーバ移行に伴うメールリングリストのアドレス変更について

新納幹事補佐より、資料No.108-11に基づき通信学会のサーバ移行について説明がなされた。当研専はこのサーバで通信学会側の電磁界理論研究会のウェブサイトとメールリングリストを運用しており、ウェブサイトは既に移行して動作確認済みであること、メールリングリストは@ns.ieice.orgドメインが使用できなくなり、@mail.ieice.orgドメインに一本化されることが報告された。

12. 2020年度EMT委員会名簿

平山委員長より、資料No.108-12の2020年度委員会名簿について誤りが無いか確認することが依頼された。鈴木委員の所属について訂正されるとの報告がなされた。

13. 専門委員の交代について

平山委員長より、資料No.108-13に基づき、委嘱年が2015年およびそれ以前の専門委員(安藤委員、中嶋委員、柴崎委員、園田委員)の退任について、同じ委嘱年の委員を少なくすることで同時に退任する委員を少なくするために、2014年以前委嘱の安藤委員、中嶋委員が2021年5月に退任し、2015年委嘱の柴崎委員、園田委員がそれ以後に退任することが提案された。本議題は異議なく承認された。

その他. 論文賞の推薦について

尾崎委員(日本大学)より論文賞の推薦について審議依頼があったが、平山委員長より推薦は個人名義

で行うため、委員会での議論には適していないとの意見があったため、研専幹事団で議論することとなり、委員会での議論は行われなかった。

電気学会 電磁界理論技術委員会 議事

14. 令和2年度活動資金申請書

松島委員長より、資料 No. 2020-ETC3-1 に基づき、電気学会 EMT 活動資金申請について報告がなされた。2021 年の第 50 回電磁界理論シンポジウムにて実施される特別講演の講師謝金に充てる予定である旨の説明がなされた。

15. 研究会資料電子化について

松島委員長より、資料 No. 2020-ETC3-2 に基づき、研究会資料の電子化の計画について説明がなされた。研究会資料の発行日（＝公知日）が研究会開催初日の 3 日前になること、予約者への会場での冊子体引き渡しがなくなることなどの説明がなされた。

16. 電気学会優秀論文発表 A 賞および基礎・材料・共通部門表彰について

松島委員長より、資料 No. 2020-ETC3-3 に基づき、電気学会優秀論文発表賞 A 賞および基礎・材料・共通部門表彰の規程及び選賞規準について説明がなされた。受賞枠は研究会の若手発表者の発表件数の 8% を上限とすると報告された。